

コートジボワール

Republic of Côte d'Ivoire

	2007年	2008年	2009年	
①人口:2,140万人*(2009年)	④実質GDP成長率(%)	1.6	2.3	3.8*
②面積:32万2,462km ²	⑤貿易収支(CFAフラン)	1兆2,290億	1兆4,874億	1兆9,762億*
③1人当たりGDP:1,052米ドル (2009年)	⑥経常収支(CFAフラン)	△666億	2,019億*	7,886億*
	⑦外貨準備高(米ドル)	25億1,900万	22億5,300万*	32億6,700万*
	⑧対外債務残高(CFAフラン)	6兆3,825億	6兆2,099億	4兆2,093億*
	⑨為替レート(1米ドルにつき, CFAフラン, 期中平均)	479.27	447.8	472.19

[注]*推計値

[出所] ①④⑧:経済・財政省, ②:西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA), ⑤⑥:経済・財政省/西アフリカ諸国中央銀行(BCEAO), ③⑦⑨:IMF

■経済改革が進展, 回復基調が続く

コートジボワールでは、国内政治情勢の安定化を背景に、IMF・世銀との間で、対外債務の包括的削減につながる貧困削減成長ファシリティ(PRGF)が合意され、2009年に入って経済改革が加速した。経済環境の改善により国内外の信用も回復し、投資が拡大した。第一次産業では、原油と良好な天候に恵まれた輸出用作物の生産が拡大、運輸、電気通信、商業部門などの内需向けの第三次産業も好調であった。世界的な不況による需要の落ち込みで伸び悩みが懸念されていた輸出は、主要品目の原油やカカオ豆の生産が急増したことから拡大し、経済を牽引した。物価が安定して推移したことも経済活動にプラス効果をもたらし、実質GDP成長率は推計値で3.8%となった。2010年中には、再三延期されてきた大統領選挙の実施が予定されており、公正、かつ民主的な選挙の実現が期待されている。PRGFの下で経済改革プログラムが順調に進展すれば、2011年までに重債務貧困国(HIPC)イニシアチブの完了時点(CP)に到達し、債務の免除が行われる見通しである。経済の足かせとなっている対外債務の包括的削減は、経済再建に大きな追い風となると見込まれる。

■カカオ輸出が大幅増加

2009年の貿易額は、輸出が4兆8,468億CFAフラン(前年比10.2%増)、輸入が3兆2,799億CFAフラン(7.0%減)となり、貿易黒字は前年比約8割増の1兆5,669億CFAフランに拡大した。

2009年の輸出を品目別で見ると、主要産品であるカカオ豆と原油の生産が好調だったことから、数量ベースで大幅に伸びた。最大輸出品目のカカオ豆(構成比25.3%)は、良好な天候と政府が推し進める生産奨励措置によって国内生産が増加、数量ベースで17.2%増、金額ベース

では55.1%増加した。世界的な不況による需要の落ち込みで国際価格下落の影響が懸念されていたが、国際市況が好転し、輸出額を押し上げた。同様に、カカオ調整品(11.0%)は、数量ベースでは前年比で4.2%減ったものの、国際価格の上昇により金額ベースでは12.2%増加した。一方、国際価格が下落した原油(11.1%)と石油製

表1 コートジボワールの主要品目別輸出入 <通関ベース>

(単位:10億CFAフラン, %)

	2008年		2009年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額(FOB)	4,400	4,847	100.0	10.2
農畜水産物	20	30	0.6	50.0
輸出農産物	1,286	1,656	34.2	28.8
カカオ豆	789	1,224	25.3	55.1
林産物	171	103	2.1	△39.8
農産物加工品	727	795	16.4	9.4
カカオ調整品	474	532	11.0	12.2
その他産物	2,196	2,263	46.7	3.1
原油	686	538	11.1	△21.6
石油製品	946	885	18.3	△6.4
輸入総額(CIF)	3,527	3,280	100.0	△7.0
食料品	695	766	23.4	10.2
魚介類	175	169	5.2	△3.4
コメ	210	281	8.6	33.8
食料品以外の消費財	666	664	20.2	△0.3
医薬品	102	117	3.6	14.7
プラスチック製品	121	133	4.1	9.9
自動車	108	83	2.5	△23.1
石油製品	65	55	1.7	△15.4
中間財	1,717	1,266	38.6	△26.3
原油	1,194	765	23.3	△35.9
鉄鋼	152	149	4.5	△2.0
資本財	448	584	17.8	30.4
一般機械	196	256	7.8	30.6
電気機器	115	150	4.6	30.4
輸送機械	76	98	3.0	28.9

[注]2009年の数値は暫定値。

[出所]表3とも、コートジボワール税関総局。

品(18.3%)では、生産増加によりそれぞれ数量ベースでは増加したものの、金額ベースでは減少した。これら4品目でコートジボワールの輸出の65.7%を占めており、国際価格変動の影響を受けやすい特徴は変わっていない。

国別に輸出をみると、オランダ向けが構成比13.9%を占め最大であった。主要品目のカカオ豆・調整品、パーム油、原油が急増したため、前年比36.0%と大幅に増加した。次ぐフランス(構成比10.9%、前年比13.7%減)、米国(7.7%、12.2%減)、ドイツ(7.2%、11.3%増)向けは、主要品目であるカカオ豆・同調整品が増加した一方、原油が減少した。ナイジェリア(7.0%、19.9%増)向けでは、約9割を占める石油製品が急増した。また、マルタ共和国(構成比3.4%、前年比7.5倍)は、浮遊式掘削用プラットフォームの再輸出があったため上位に浮上した。

一方、輸入は、国内産業の生産活動回復と投資拡大を反映し、資本財(構成比17.8%)、食料品(23.4%)、食料品以外の消費財(20.2%)が数量ベースで増加したが、輸入価格の下落で金額ベースでは減少した。原油を中心とする中間財(38.6%)は数量ベースでは横ばいだったが、輸入価格の下落で金額ベースでは大幅減となった。

品目別では、輸入の23.3%を占める最大品目の原油が、石油精製所の技術的問題に起因する生産調整と油価下落の影響により、金額ベースで減少した。次いでコメ(構成比8.6%)、魚介類(5.2%)、一般機械(7.8%)、電気機器(4.6%)、鉄鋼(4.5%)、プラスチック製品(4.1%)、医薬品(3.6%)、輸送機器(3.0%)と続く。

国別では、ナイジェリアが全体の20.6%を占め最大の輸入相手国であった。同国からの輸入は原油が9割を占めており、油価の下落が影響し金額ベースでは前年比34.7%減少した。次いでフランス(構成比14.3%、前年比4.5%増)は、主要品目の輸送機器、医薬品が減少したが、電気機器、一般機械などの品目を中心に増加した。以下、雑貨から機械機器まで品目が多様化する中国(7.2%、2.6%減)、コメが増えたタイ(5.1%、5.0%増)、乗用車や機械類が伸びた米国(3.3%、15.0%増)、ドイツ(2.9%、3.7%減)と続いている。

コートジボワールなど15カ国が加盟する西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)とEU諸国は、経済連携協定(EPA)締結を目指しているが、交渉は依然難航している。ECOWASは、貿易自由化とWTO規則との整合に取り組みつつ、開発途上地域としての利益最大化を図る考えだ。なお、コートジボワール政府は2007年12月、本協定締結に先立ち、EUとの間でEPA暫定協定に調印している。

■電気通信、農産品加工部門で大型投資案件も

新規プロジェクトの中止や規模の縮小が目立っていた近年の対内直接投資だが、2007年以降、国際金融機関との関係改善が進展し、国内外の信用が回復してきたことを受け、大型案件が出てきた。コートジボワール投資促進センター(CEPICI)の認可ベース統計(エネルギー上流部門、建設・不動産、金融部門の案件は除く。商業、輸送については5億CFAフラン以上が対象)では、件数で97件(前年比2件減)、金額では2,555億6,738万CFAフラン(前年比10.4%増)となった。

業種別では、前年に続き農産物食品加工(構成比43.0%)と電気通信(28.8%)で大型案件がみられたほか、政府の奨励策や国内需要の拡大を受ける形で医療、サービス、輸送などの分野でも新規投資計画が増えた。国・地域別では、ルクセンブルクやキプロス、フランスなどの欧州諸国からの投資が411億8,938万CFAフラン(前年比38.0%増)、マリ、ナイジェリア、セネガルなどのアフリカ諸国が1,718億7,481万CFAフラン(6.3%減)であった。これまでフランスを中心とした欧州企業の優勢が続いていたが、近年、アジアやアフリカ諸国企業の進出も目立ち、貿易とともに投資でもパートナーの多角化が進んでいる。

政府の奨励を背景に一次製品の加工率向上を目指す農産物食品加工部門では、インド企業およびキプロス企業によるパーム油製造、シンガポール企業、レバノン企業、デンマーク企業による農産品加工、ベルギー企業による天然ゴム加工、マリ企業による飲料水製造などの大型案件がみられた。農産物食品加工部門以外の製造業では、

表2 コートジボワールの対内直接投資統計(業種別)

(単位:100万CFAフラン、%)

	2008年		2009年	
	金額	金額	金額	構成比
農産物食品加工	71,924	109,840		43.0
電気通信	83,365	73,712		28.8
サービス	9,922	22,475		8.8
医療	23,093	12,226		4.8
石油・ガス工業	3,914	5,905		2.3
印刷業	950	5,499		2.2
機械・製鉄工業	13,875	4,106		1.6
ガラス工業	0	4,083		1.6
林産工業	3,693	3,533		1.4
プラスチック加工	4,078	3,171		1.2
観光・ホテル	6,222	2,804		1.1
養殖業	0	1,646		0.6
鉱工業	514	1,574		0.6
商業	1,438	968		0.4
運輸	4,435	604		0.2
その他	4,059	3,421		1.3
合計	231,483	255,567		100.0

[注]2009年は、認可ベース。

[出所]コートジボワール投資促進センター(CEPICI)。

レバノンとコートジボワール企業による製鋼，マリ企業によるプラスチック加工，フランス企業による製材，オランダ企業による機械工業，レバノンとフランス企業による印刷業の投資案件が主だった。需要が高まる電気通信部門では，英国とナイジェリアとコートジボワール企業による大型案件がみられたほか，携帯電話事業を行うレバノンのコムコム社が大規模な設備投資計画を発表した。サービス部門では，フランス企業とコートジボワール企業による港湾荷役サービス，ルクセンブルグ企業による海運サービス，カナダ企業とコートジボワール企業による医療サービス，ドイツ企業による陸上輸送，フランス企業による航空輸送などの大型案件があった。民営化・民活型の建設・運営・譲渡(BOT)方式の公共事業では，鉄道路線の管理運営事業でフランスのボロレ・グループが，1,750 億 CFA フランの設備投資計画を発表した。近年関心が高まっている資源開発では金鉱開発を中心に権益取得が相次いでいる。

■対日貿易は，輸出入とも大幅減少

コートジボワール通関統計によると，2009 年の対日貿易は，輸出が 26 億 7,800 万 CFA フラン(前年比 26.4%減)，輸入が 691 億 1,200 万 CFA フラン(24.5%減)となった。対日輸出の減少幅が輸入のそれを上回ったことから日本側の黒字が拡大した。

対日輸出を品目別にみると，主要品目であるカカオ調整品(構成比約 7 割)が，金額(前年比 28.8%減)，数量(41.1%減)ともに急減した。一方，2007 年以降皆無となっていたカカオ豆(構成比 20.4%，全増)は，2009 年に再び上位を占めた。続く，木材・同製品(5.6%)が前年比約 7 倍と大幅に増加した。なお，2006 年以降輸入されていなかった石油製品も，2009 年には再び計上された。

対日輸入を品目別にみると，工業製品が全体の 4 分の

3 を占める構造に変化はないが，特に，自動車を中心とする輸送機器，スラグサンド，圧延メッキ鋼板，セメント用中間財のクリンカー，ディーゼルエンジンやトラックなどの機械機器，タイヤを中心とするゴム製品など，耐久消費財や中間財の減少が目立った。自動車の輸入減少については，復興プロジェクトの進展で政府調達を中心とする新車需要が一段落したことなどの要因が挙げられる。このほか，建築資材となるスラグサンド，圧延メッキ鋼板が急減しており，背景にはコートジボワール国内での住宅建設の不振があるとみられる。対日輸入は，2009 年は減少に転じたものの，今後数年の間は復興需要を受ける形で，回復していくものとみられる。

日本企業の動きとしては，99 年末のクーデター後，日本の対コートジボワール経済協力案件が停止したことに加え，その後の内政不安長期化に対する懸念により，日本商社では駐在員事務所の閉鎖，拠点シフトの動きがみられた。その結果，現在 1 社だけを残す形になった。しかし 2007 年以降の国内情勢改善を受け，2009 年に入って日本の経済協力案件も再開されたことから，日本企業が再度進出する下地は固まってきているといえる。

表 3 コートジボワールの対日主要品目別輸出入 <通関ベース>

(単位:100 万 CFA フラン，%)

	2008 年		2009 年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額(FOB)	3,638	2,678	100.0	△ 26.4
カカオ調製品	2,562	1,825	68.1	△ 28.8
カカオ豆	-	545	20.4	-
木材・同製品	21	149	5.6	609.5
輸入総額(CIF)	91,523	69,112	100.0	△ 24.5
乗用自動車*	42,272	28,620	41.4	△ 32.3
その他車両・関連部品**	9,492	10,359	15.0	9.1
スラグサンド	12,018	4,258	6.2	△ 64.6
セメント/クリンカー	6,406	4,907	7.1	△ 23.4
機械機器	4,134	4,539	6.6	9.8
ゴム製品	2,702	2,606	3.8	△ 3.6
繊維原料(綿を除く)	2,056	1,511	2.2	△ 26.5
電気機器	713	2,096	3.0	194.0

[注]*HS 品目番号 87.03，**HS87 類(87.03 を除く)。